

### ごみ収集の現状と

#### 今後の対応は？

**問** 本市では、衣類を燃えるごみとして収集し、

焼却処分しているが、新たに衣類を分別項目に追加し、資源化すべきと考えるが、どのように検討しているのか。

また、スプレー缶などの回収に当たっては、各家庭におけるスプレー缶の穴開け時の事故が多く、危険との声も聞かれる。ごみ収集に関する事故の実態と今後の対策について、どう考えているのか。

**答** 衣類については、現在燃えるごみとして分別収集し焼却処分を行っている



ごみステーション

が、分別項目を追加し、資源化することが望ましいと考えられている。他の自治体では、公共施設などで拠点回収を行い、リサイクルを行っている例もあり、本市においても、試験的にイベント会場などでの回収や、回収衣類の資源化のシステムを構築するなど、本格実施に向けて対応を検討していきたい。

また、スプレー缶などの回収方法や穴の開け方については、指定ごみ袋とともに、配布しているごみカレンダーや注意喚起のチラシなどにより周知を図っているが、いまだに燃えないごみの中に穴を開けていないスプレー缶が混入しているのが現状である。過去には、収集車両の火災や中間処理施設である道前クリーンセンターでは爆発事故が発生しており、これまで人的な被害はないが、車両や処理施設に被害が生じている。

衛生施設については、検討を要する時期を向かえているが、新規に処理機械などを導入することは困難であると認識している。今後も、穴開けや分別回収の周知・啓発を継

続して行うとともに、収集運搬委託業者への指導を徹底することにより、現在の方式を推進していきたい。

#### 成果は？

#### 小学校外国語活動

#### 問

本市では、平成23年度より、初等教育の段階からグローバル化に対応した教育を充実することで、世界で戦える人材を育成することを狙い、小学校5・6年生を対象に、年間35単位時間の外国語活動が必修化された。開始から5年目を迎える今日、成果と改善点をどう捉えているのか。

#### 答

小学校外国語活動については、文部科学省の英語活動教材を電子黒板で使用し、音声や画像を効果的に活用するとともに、ALT（外国語指導助手）の活用により、現地の発音や雰囲気慣れ親しむ環境づくりや、英語の絵本の読み聞かせ、英語の歌をジェスチャー付きで歌うなど、興味を持って学習できるように、さまざまな工夫を



外国語指導助手による授業風景

授業に取り入れている。また、教員が英語で指示や質問するクラスルーム・イングリッシュを多く用いて、授業中の日本語の使用をできるだけ減らし、オールイングリッシュに対応できる力を育てている。

活動の成果としては、外国人にも臆せず積極的に英会話のできる児童が増えていると認識している。改善点としては、専門性を持った教員が少ないことから、愛媛県教育委員会とも連携し、教員の指導力の差を平準化するための方策を探っている。今後、全小學校に整備されるICT環境を有効に活用し、指導力の差をできる限り埋め、意欲的に外国語活動に取り組んでいきたい。

## 公明党 西条市議団

### 一般質問

#### 水問題に対する市の見解と今後の見通しは？

#### 問

愛媛県より示された「西条と松山の水問題」に対する6つの提案」に対する市の見解、水問題の最終に向けた今後の見通しをどのように考えているのか。



長瀬取水堰